事業所自己評価シート

令和３年度

職員による自己評価

Ａ環境面
職員の配置数は適切ではないと感じている職員がいる。
Ｂ業務改善
全職員が業務改善は特にないと感じています。
Ｃ適切な支援
『毎日が特別な日』と釘打って超過休暇は毎日違う特別講座をおおない、保護者、生徒に前月の間に周知している。
Ｄ関係機関との連携

Ｅ保護者への説明責任・信頼関係
今年はなごみ会(保護者会)を開催できなかった。その代り高校説明会を開いているが、なるべく話し合いを避けていただいている。
F 非常時等の対応
当教室内では今の所身体拘束の実績及び必要がないが、各職員にはどのような扱いにするかを話している。

保護者による評価

Ａ環境面
先生の人数が少なく感じる時がある。
同じ先生に長くいてほしい。2 階にあるのに階段しかない。
Ｂ児童への支援内容
コロナ禍なので交流するのは控えていただきたい。
Ｃ関係機関との連携
特になし
Ｄ保護者への説明責任・信頼関係
コロナ禍なので保護者会は開かなくて大丈夫です。
ご近所に知られたくないので、インターフォンで名乗らないでください。
Ｅ非常対応
マニュアルはどこにあるのか知りませんが、避難災害に関して、契約の時に話していただきました。

事業所内での分析

【共通点】
保護者会等はコロナ禍中はやらないでほしい。

【相違点】
職員がたりないと感じている方もいるが、最低基準以上は配置が出来ている。
療育内容に関して、固定化していないかどうか。

分析・検討してみて…

事業所の強み

生活スキルを身に付けるために、取り組みをいろいろ行う環境が整っている。
小田急相模原駅前教室、東林間教室の平行利用を行っており、個別の目標を児童にあった仕方で行うことが出来ている。

事業所の改善点

生徒たちのその後に関してどのようにしていくことが出来るのか。
送迎の際に気を付けるべき事がいろいろあるのではないか。

事業所の改善への取り組み

送迎の際個人情報の留意に気をつけます。
生徒たちの将来を見据えた計画を立てることが出来るような支援を行っていきます。
指導員のスキルが上がるよう職員の研修を多くします。
避難訓練の実施を多くの生徒が密にならないように行えるよう、何度か曜日を分けて行う。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

反省点等が多数見つかりました。指導員の訓練等をしっかりと行っていきたいと思っています。
又、人員配置に関しても引き続きしっかり行わさせていただきたいです。

事業所名　子育て支援　和美　小田急相模原教室